カンフォロ
Canforo No.38
愛媛県美術館ニュース No.38 2009

つぶやき

美術館の中庭にある3本の楠（くすのき）は、悠久の生命力を感じさせてくれます。木漏れ日が地上のタイルに揺らぎ、頬を撫でる風が時の記憶を呼び起こします。ベンチに座るとホントに癒されます。あなたもどうぞ…。（T.K.）

企画展②

ピカソと20世紀美術の巨匠たち

ルートヴィヒ美術館所蔵

平成21年10月1日[木]－11月8日[日]
休館日は10／6(火)、13(火)、19(月)、26(月)、11／4(水)
●時間／9：40～18：00
（入場は17：30まで）

ドイツ・ケルン市の中央駅近く、大聖堂とライン川に挟まれた絶好のロケーションに位置するルートヴィヒ美術館は、20世紀美術のコレクションで世界的に知られています。

コレクションの特色の一つは、質量ともに充実したパブロ・ピカソの作品群です。その多くは、ピカソに関する論文で博士号を取得した異色の経歴を持つ実業家ペーター・ルートヴィヒとその妻イレーネによって体系的に蒐集されたものです。本展では、初期から晩年に到るまでの各時代の典型となる絵画8点を紹介し、ピカソが創造した作品世界のエッセンスを味わっていただきます。

あわせて、マティスやクレー、ユトリロ、シャガールなどのモダン・アート、アール・アンフォルメルやポップ・アートなどの戦後美術、そして日本でも展覧会が開かれたことのあるアンテスやペンクなどドイツを代表する現存作家の作品等を、幅広く展観いたします。

20世紀最高の感性と知性の結晶であるアートの魅力を、余すところなくご堪能ください。（N.T.）

パウル・クレー《陶酔状態の道化》1929年 ©Museum Ludwig Cologne

関連プログラム

●フロアレクチャー
10月3日(土)、10日(土) 各14：00～15：00
講 師：当館学芸課長
場 所：企画展示室
※企画展観覧券が必要です。

●エントランスコンサート
10月4日(日)13：30～14：00、15：00～15：30
出演者：清水美千子(ソプラノ)、平田文(ピアノ)

10月25日(日)13：30～14：00、15：00～15：30
出演者：柏原大蔵(ヴァイオリン)、清水美千子(ソプラノ)、平田文(ピアノ)
場 所：エントランスホール

●ショート・レクチャー
10月11日(日)、18日(日)
各13：30～14：00、14：30～15：00、15：30～16：00
講 師：本展担当学芸員
場 所：講堂

●企画展プレビュー
10月17日(土)、24日(土)
各14：00～15：00
講 師：本展担当学芸員
場 所：講堂

ただいま準備中！

企画展③

円空・木喰展

―「庶民の信仰」の系譜―

平成21年12月12日[土]－平成22年1月24日[日]
休館日は毎週月曜日(祝日、振替休日及び第1月曜日に当たる場合は開館し、その翌日が休館日)

この冬、平成17年の「聖徳太子と国宝法隆寺展」以来、4年ぶりに仏像展を開催することになりました。今回の主役は、江戸時代に庶民の信仰に応えるため自ら一木像を彫り、全国を遊歴した2人の僧、円空(1632-95)と木喰(1718-1810)。微笑みをたたえた数々の仏像を、皆さんも一度は目にされたことがおありかと思います。展示室には、両者あわせて200体もの作品が並ぶ予定ですので、乞うご期待！

愛媛の地にも、両者の仏像が数体残されています。写真はそのうちの1体(もちろん展覧会にも出品されます)。自然木(現在は上下が断ち切られていますが)に開けられた穴の中に観音菩薩が居られます。「立木仏」と呼ばれるこの様式は、木の中に宿る仏性を目に見える形として彫り出したものです。近代で木喰仏を最初に評価したのは、民藝運動の父・柳宗悦(1889-1961)ですが、この立木仏も大正末期に柳によって見出された傑作の一つです。(T.N.)

木喰(子安観音菩薩坐像(立木仏)) 愛媛・光明寺

いぶやき

「薔薇空間展」、「良寛展」、「こどものとも絵本原画展」が終了したと思ったら、もうすぐ「タッソノコプロの世界展」、平行して、「ピカソと20世紀美術の巨匠たち」の準備。今年はとにかく気ぜわしい。でも、いろんなジャンルの展覧会が開催できるのはとても刺激的で、この刺激が快感に変わりつつあるこのごろです。この快感って、ルアー釣りに似ているかな？(K.E.)

展示レポート

なぞなぞ美術館Ⅳを開催しました

岩波昭彦さんの作品の前でトークも広がります！

美術館では今年も恒例の「なぞなぞ美術館Ⅳ」を2月4日(水)～6月7日(日)まで開催しました。今年のテーマは「Landscape・風景画を楽しもう」。"風景"をテーマに屏風、軸、油彩、彫刻、そしてテインスタレーションによる銅版画等、それぞれ表現方法の違う19点の作品を、キャプションを伏せた形で展示構成し、今回もお楽しみいただきました。(※なぞなぞ美術館のしくみについてはカンフォロ37号をご参考ください)

前回もそうでしたが、第4回目となった今期も多くの来館者の方から作品の『感想文』を寄せて頂きました。また展覧会そのものについての『感想文』もたくさん頂き、今回はその中からふたつをご紹介します。

『全体的に言えることなのですが、私は今まで作品を「題名」だけで見て来たのではないか、とはっとさせられました』『(作品に寄せられた)みなさんの意見を読むことにより、「あーやっぱり！」とか「そうだ」とか「フーンそんなとらえ方もあるの」とか、共鳴したり教えられたりして身近に感じたり違った見方ができたり、少しスパイスを自分にプラスして絵の鑑賞ができるという初体験。面白いナーと思いました。また楽しみにしています。この展覧会。』この「なぞなぞ美術館」は来館者の方の声を受けて毎回試行錯誤を繰り返しながら企画しています。次回「なぞなぞ美術館Ⅴ」もどうぞお楽しみに！（Y.S.）

今年度の講座「色の時間」「素材の時間」のテーマは、色は「朱(あか)」、素材は「金属」で、様々なメニューを用意しています。
「みる」「つくる」の活動を通して、「朱」と「金属」のに親しんでみませんか？では、早速、行われた「朱」の講座について報告します。

普及レポート①

美術体験講座　朱をみよう

美術館では、去る5月17日(日)と31日(日)の2日間、小学生を対象にした美術体験講座「朱をみよう」を開催しました。美術体験講座は「誰もが気軽に体験できる活動をとおして、「美術」の面白さを発見する」ことを目的に、その年ごとの展覧会の内容等を考えながら色や素材等のテーマを決めています。今年のテーマ色は「朱(あか)」。当日は「朱(あか)」をテーマに、子どもたちそれぞれが持っている「朱(あか)のイメージ」を話し合った後、館内(展示室以外)を使っての「朱(あか)色さがし」そして、最後は展示室で朱(あか)をテーマにした作品を対話型鑑賞法により楽しみました。講座の進行は基本的に参加者の「私は○○したい」という意志や好奇心を中心に進められていきますが、今回も途中からうれしい声がありました。それは「僕は緑が好きなんだけど･･･」というもの。そしてその言葉を受けた担当者から「へえ！緑は朱(あか)の親戚だよ」(※緑と赤とは補色の関係)」ということが伝えられるやいなや参加者みんなの目が「え？！なんで？知りたーい！」一色に。最後はみんなで補色ゲームをして講座を終えることになりました。「教える」のではなくその人のもともと持っているものを「引き出す」こと。これぞ美術館教育の本質です。（Y.S.）

普及レポート②

実技講座 色の時間 朱 deスタンプ

ハンコを押したことがあるという幼児、小学生、大人が集まり、「朱 deスタンプ」という講座を5月27日に開催しました。朱色と赤色の粉絵の具に少し黄色や青色の粉絵の具を足すことで朱系の色んな色を作ることから講座は始まりました。低い机いっぱいに広げた紙に、キャベツ、ピーマン、ししとう、じゃがいも、玉葱を輪切りにして野菜でスタンプ。思った形だったり違ったり？！色んなスタンプを試そうと、紐や紙を貼り付けた紙管コロコロローラーでスタンプ。色んな線が生まれました。スポンジでもスタンプ。塗ったような面ができました。最後には手や足にも絵の具を塗りつけ、紙の上をドタドタと歩いてスタンプ！自分の足や手の形はどうだった？！50×100cmの画用紙に、色んなものでスタンプして自分を表現しました。

7月12日には、アトリエいっぱいに広げた白い紙の上を、みんなで朱色にスタンプする講座を開催します。今度は手足にたくさん絵の具をつけて、白い紙を朱に染めあげましょう！協力してくれる人はアトリエ2に13時30分までに集まってくださぁ～い。（A.T.）

info.1

メールマガジン配信中！

カンフォロWEB版としてメールマガジンを始めて1年が経過しました。
登録いただいた方に、美術館の最新情報、購読者限定のお得な情報が、月1回のペースで無料配信されます。
手続きは簡単！今すぐ、登録をおすすめします！
登録はこちらから↓
http://www.ehime-art.jp/publication/mailmagazine/

info.2

アトリエ同好会

年度毎にテーマ(種目)を決め、月に1回、その内容に興味のある人がアトリエに集まり、相互に情報交換しながら、共に学びあい、技法の習得を目指す「アトリエ同好会」。
今年度は「版画」を取り上げてみました。版画もさまざま。現在は、昨年度実施した木口木版画の友の会アトリエ教室からの参加者が多く、引き続き木口木版画に取り組む姿が見られます。とりあえず、身近な版画で消しゴム版画から取り組んでみるのもいいかもしれませんね。詳しくは、美術館までお問い合わせください。

info.3

開館記念日

美術館の開館記念日を祝して、今年は11月29日(日)に、常設展示室の観覧料を無料にするほか、様々な催しものを計画中です。昨年、好評だった「てしごと市」(手づくり品のフリーマーケット)も予定しています。お楽しみに。

しんぶんぼー

ハトの声(編集後記)

美術館は、夏は涼しい！と思われている方が多いと思います。もちろん作品保護のため、展示室の温度は23度前後に維持され、夏でも少し寒いくらいです。しかし、職員が仕事をする事務室は、室温が28度を超えないと冷房を入れていません。28度をぎりぎり超えないような日は、夏の暑さを実感しながら仕事をしています。このように美術館もクールビズ実践中です！(M.I.)

THE MUSEUM OF ART EHIME
愛媛県美術館

愛媛県美術館ニュースNo.38 2009
発行日＝平成21年7月15日
編集・発行＝愛媛県美術館
制作＝株式会社明朗社

カンフォロ Canforo No.38

愛媛県美術館ニュース No.38 2009

Canforo とは、イタリア語で「くすのき」を意味します。
愛媛県美術館の中庭に立つ３本の大きなくすのきにちなんで名付けられました。

タツノコプロの世界展

『タイムボカンシリーズ ヤッターマン』
©タツノコプロ

企画展 1

平成 21 年 7 月 25 日[土]－9 月 13 日[日]
休館日は月曜日　ただし、8/3(月)、9/7(月)は開館し、8/4(火)、9/8(火)は休館
時 間 /9:40～18:00（入場は 17:30 まで）

竜の子プロダクションは、1962 年に吉田竜夫、健二、豊治(ペンネーム、九里一平)の三兄弟が核となり、漫画制作集団として立ち上げられました。米国の『スーパーマン』等のコミックからも影響を受け、戦後を生きる青少年を励ますような、ヒーローやスポーツを題材にした作品が制作されました。

まもなく手塚治虫による虫プロがアニメ制作を開始し、時代の流れの中で、タツノコプロもまた未知のアニメーションの分野に足を踏み入れることとなります。試行錯誤の中で始まった『宇宙エース』を皮切りに、『マッハ GoGoGo』、『ハクション大魔王』、『昆虫物語みなしごハッチ』、『科学忍者隊ガッチャマン』、『タイムボカンシリーズ』など、幅広い魅力あふれる作品を今日まで次々と発表し続けているのです。

これらの作品で誕生した、個性的なキャラクターは今なお多くの人々に愛されています。プロダクション創設期からの理念である、「世界のファミリーに夢を」というタツノコプロの精神が、世代や国境を越え、現在も多くの共感を呼んでいるのでしょう。

本展では、設定画やセル原画、また企画段階で保留となり発表されなかった作品の企画資料や原画も初公開し、約 300 点の作品によりタツノコプロの魅力をたっぷりご紹介します。(H.S.)

関連プログラム

- **学芸員によるフロアレクチャー**
  8 月 8 日、22 日(土)14：00～15：00　場所：企画展示室
- **映画上映会：劇場版「科学忍者隊ガッチャマン」**
  (1978 年制作・110 分)
  7 月 25 日(土)14:00～(13:30 開場) 場所：講堂
- **たんけん！はっけん！タツノコワールド！**
  7、8 月の毎土曜日　各 10：00～17：00　場所：企画展示室
- **タツノコイラスト大募集！**
  あなたの思い出に残る作品とメッセージをエントランスホールに展示します。
  ※詳細は当館のＨＰまたは学芸課まで。小中学生用の招待券プレゼント！
- **「タツノコキャラクター」で美術館へ！**
  タツノコキャラを身につけて来場された方は、前売り料金で観覧できます。
  ※展示室受付にて自己申請してください。スタッフが判断いたします。
  ※館内には更衣室はございませんのでご了承ください。
- **８月公開の劇場版アニメ『ヤッターマン』**
  総監督 笹川ひろし講演会
  8 月 1 日(土) 11:00～12:00(10:30 開場) 場所：講堂
  要申込 ※詳細は学芸課まで。
- **i+dea ワークショップ**
  第1回：8 月 7 日(金)13:00 ～16:00
  河原学園 国際デザインアート専門学校による催しを企画中 !! マンガやイラストを楽しく描こう !!
  ※第 2 回以降の日程、内容の詳細は当館、あいテレビ又は、河原学園の HP をご覧ください。
- **タツノコソング・コンサート**
  8 月 29 日(土) 14:00～
  出 演：松山少年少女合唱団
  場 所：エントランスホール

この夏、美術館でオリジナル楽器づくりにはまってみませんか？

実技講座　素材の時間

金属の音づくり

身近な金属を使って楽器を作り、金属が作る音を楽しもう。
【チャイム】　8／8（土）　13：30～16：00
【巨大音楽装置】8／23(日)　10：30～15：00
- 小学生～大人・各 20 名
- 材料費：A のみ、1,000 円程度
- 申込方法は、美術館までお問い合わせください。

夏休みイベント

ガチャガチャ☆シャカシャカ楽器

王冠やアルミ缶を使ったタンバリンやマラカスを作ろう。
8／12(水)・13(木)　各 15：00～17：00
- 先着 30 名　※幼児は保護者の方とご参加ください。
- 材料費：50 円(1 セット)
- 申込不要。当日、中庭にお集まりください。

特集展 1

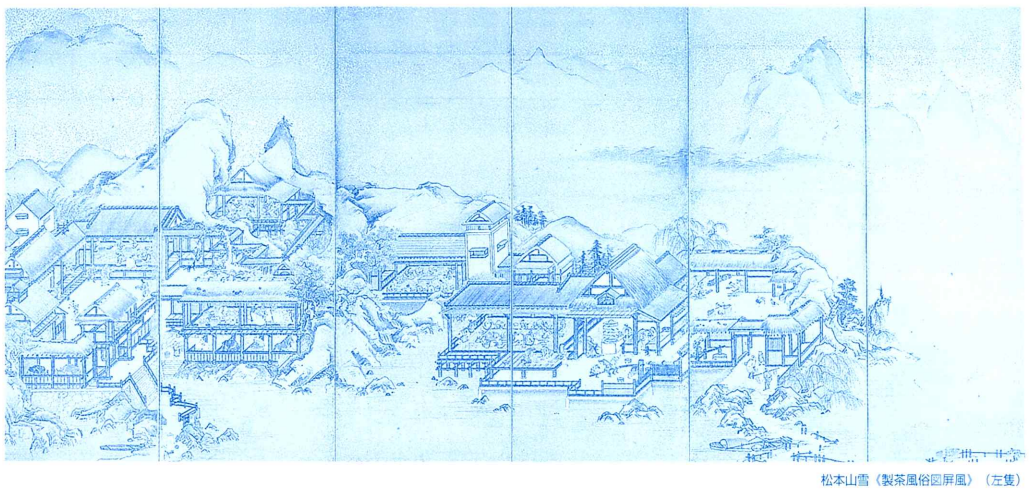
松本山雪と近世絵画

平成 21 年 6 月 12 日[金]－9 月 13 日[日]
休館日は、毎週月曜日(祝日、振替休日及び第 1 月曜日に当たる場合は開館し、その翌日が休館日)

松本山雪《馬之図屏風》部分

松山藩の初代御用絵師として活動した松本山雪(?～1676)は、珍しい主題、細部の描き込み、人物や動物のユニークな描写など、一度見ると忘れがたい独特の画風で知られます。当館では 2007 年に、その画業について検証する企画展を初めて開催しました。企画展では、近年注目の高い狩野山雪や雲谷等益といった同時代の個性派絵師たちとの共通点、あるいは当時の画壇を席巻していた雪舟ブームとの関わりなどを考えながら、美術史上今一つ不明瞭であった松本山雪の評価や位置づけについて、一石を投じたつもりです。

今回はそれ以来、久々に館蔵・寄託の山雪作品をまとめて公開します。まだ山雪をご存知でない方、江戸初期の松山にこんな面白い絵師がいたことをぜひ記憶にとどめていただければと思います。さらに併せて、館蔵・寄託の江戸絵画からも優れた作品を厳選して紹介しますので、こちらもお楽しみに。　(T.N.)



松本山雪《製茶風俗図屏風》（左隻）

特集展 2

杉浦非水の眼

平成 21 年 6 月 12 日[金]－9 月 13 日[日]
休館日は、毎週月曜日(祝日、振替休日及び第 1 月曜日に当たる場合は開館し、その翌日が休館日)

日本におけるモダンデザインの先駆者・杉浦非水。本展では、当館所蔵品より、作家の人となりを伝える身の回りの品々や収集品などを作品とともに紹介します。

愛用の道具や画材

松山市出身の非水は、日本画を学んだのちアール・ヌーボーのデザインにふれ、図案家の道を歩みます。ポスター、パッケージデザイン、雑誌の表紙など多岐にわたる仕事には、実に様々なモティーフやスタイルを見出すことができます。彼の収集品のうち、浮世絵、動物をモティーフにした絵葉書や雑誌の切り抜きなどは、デザインの参考にしたものと考えられます。また、製図用具やアクリル絵具など、仕事のための画材に加えて、余技的に制作した写真や油彩画、日本画の道具類、そして旅先で収集したと思しき異国の品々は、作家の生前の様子を生き生きと伝えてくれます。

本展を通して、どのような視点で彼が世界を見つめ、造形の糧としたのかということを感じ取っていただければ幸いです。　(C.H.)

つぶやき

わが家の軒下にツバメが巣を作りました。つがいのツバメが協力してひなを育てる姿は美しく勇敢で、感動的なものでした。私も第２子の育児休暇を終え、職場に復帰しました。今後ともよろしくお願いします。(K.N.)

展示の裏側

「美術館」と聞いて何をイメージするでしょうか。ほとんどの方が“作品が飾ってある空間”を思い浮かべるのではないでしょうか。その展示室がどのように出来上がっているのか、常設展について、その過程をご紹介したいと思います。

まず、展示のテーマに沿って展示作品を選定します。作品の内容、状態、大きさなどを考慮しながらの選定作業は、時間と労力を要します。作品が決まったら、図面上に配置します。

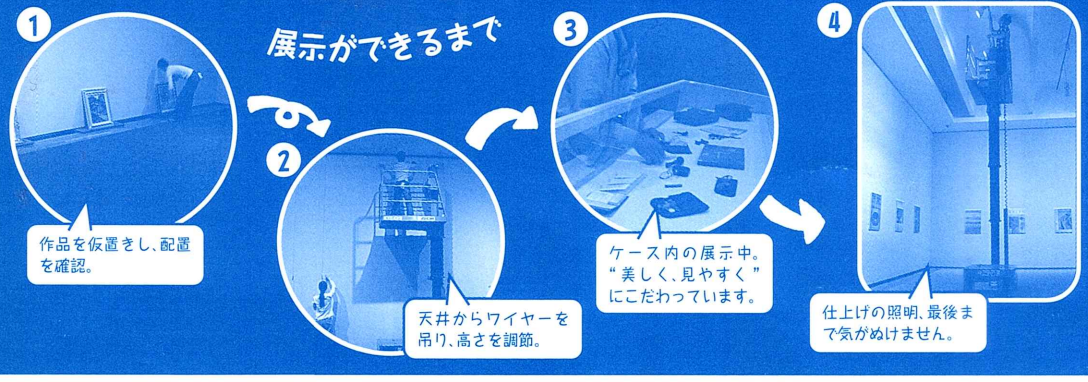
次に所蔵品が保管されている収蔵庫から選定した作品を展示室へ運びます。そして、作品を仮に配置し、この段階で必要に応じて作品を入れ替えるなど調整をします。

位置が決まれば、作品を固定していきます。立体作品は様々な固定方法がありますが、平面作品は主にワイヤー吊りかフック掛けになります。写真を見ていただければお分かりだと思いますが、当館の天井はとても高く、ワイヤーを掛けるには高所作業をしなければなりません。この段階が一番手間と時間がかかりますが、ここで丁寧に作業をすると、作品を掛けてからの調整がほとんど必要なくなります。

最後は照明です。作品がもっとも美しく見え、かつ劣化させない照度に調節します。これも高所作業でたいへんですが、うまく照明をあてると作品は見事に輝きます。作品を生かすも殺すも学芸員の腕次第と言えるかもしれません。

こうして並んだ作品に、キャプションや解説パネルを配置して、皆さんをお迎えする展示室の出来上がりです。美術館の展示室は、作品選定から展示まで、学芸員の思いがたっぷり詰まっているのです。　(K.N.)

展示ができるまで



ご利用案内

- 開館時間　9：40～18：00(入室は 17：30 まで)企画展の終了時間は、展覧会により異なります。
  ※南館の県民ギャラリーは 18:00 に閉室します。※実行委員会及び貸展については、入室時間が異なることがあります。各展覧会のページでお確かめください。
- 休館日　毎週月曜日(祝日、振替休日及び第 1 月曜日に当たる場合は開館し、その翌日が休館日)

THE MUSEUM OF ART EHIME
愛媛県美術館
〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511
http://www.ehime-art.jp/